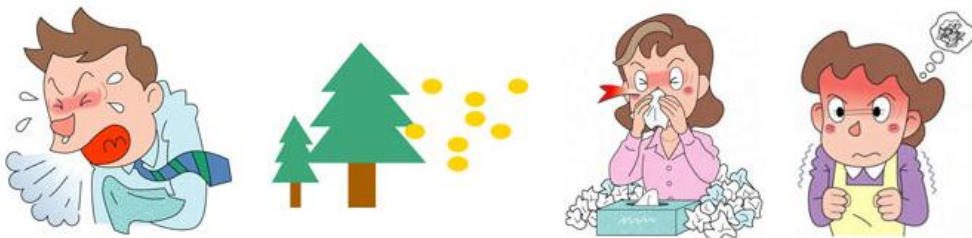




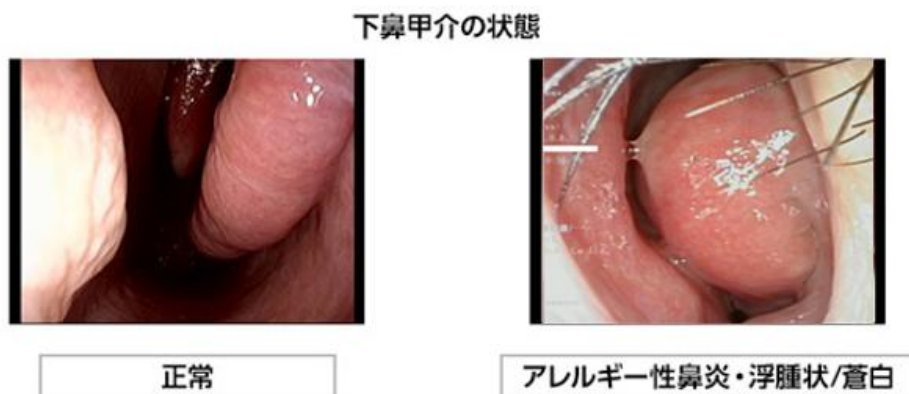
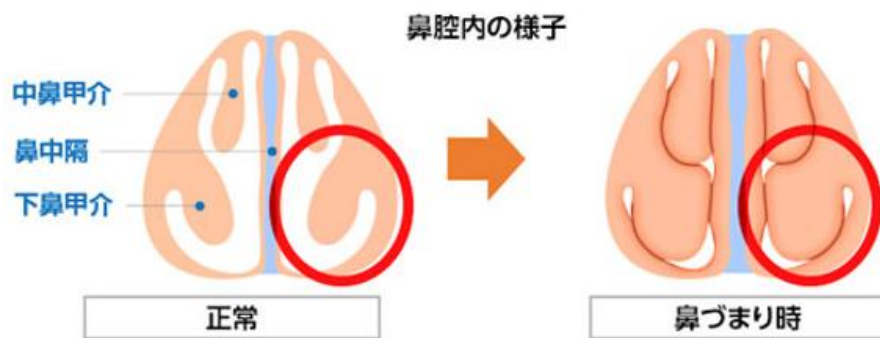
舞鶴医療センター便り

アレルギー性鼻炎

アレルギー性鼻炎は、花粉やダニ、ホコリなどのアレルゲンに対するアレルギー体質が原因で「くしゃみ」「鼻汁」「鼻づまり」といった防御機構が過度に起こる病気です。



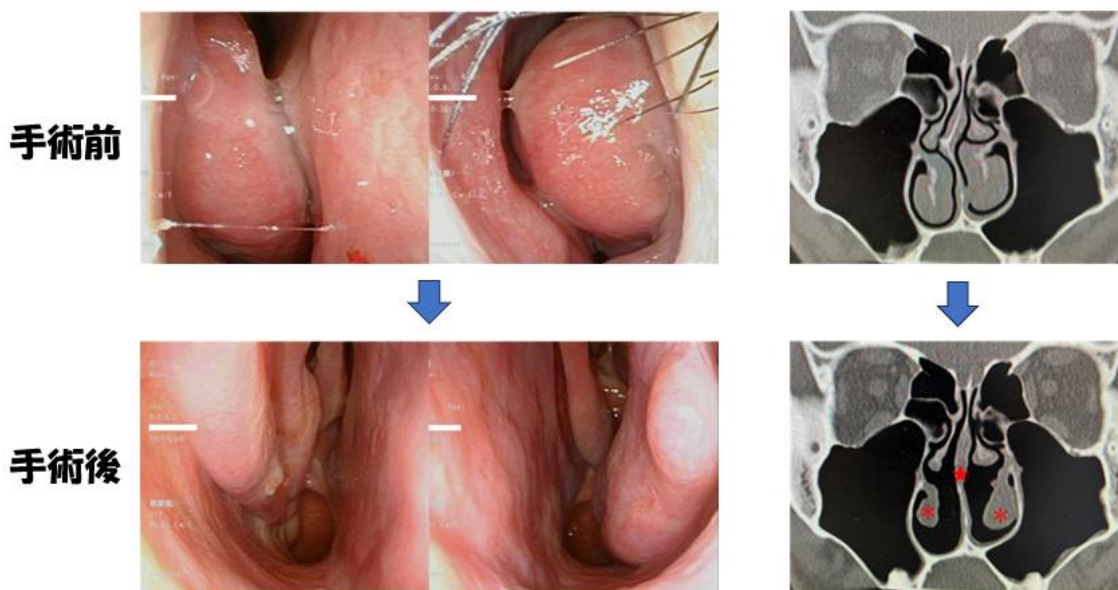
アレルギー性鼻炎では鼻腔内の粘膜が腫れて鼻が狭くなったり、粘液分泌が増えることで水様性鼻汁やくしゃみなどの症状がでます。



治療の大原則は「原因物質（アレルゲン）を吸い込まない」ことです。マスクや花粉メガネをしたり、こまめに室内の掃除をすることも大切です。その上で症状を抑えるために薬物治療やアレルゲン免疫療法、手術治療などが行われます。



アレルギー性鼻炎に対する手術治療



当院ではアレルギー性鼻炎に対する治療として、特に手術治療に力を入れています。内視鏡を用いて鼻腔内の形態を改善するため効果は長期持続し、非常に満足度の高い手術です。従来の薬物治療などで効果が乏しいと感じる場合はぜひ一度ご相談ください。

文責：耳鼻咽喉科 鯉田 篤英

出典：日本アレルギー学会 HP「アレルギー性鼻炎 Q&A」より一部改変

発行元:舞鶴医療センター 広報委員会